



## 後ローラブラシキット

Reelmaster® 5210/5410 シリーズ 5インチリールカッティングユニット  
および Reelmaster® 5510/5610 シリーズ並びに 6500-D/6700-D 7 イ  
ンチリールカッティングユニット用

モデル番号 03668

モデル番号 03688

### オペレーターズマニュアル

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合  
宣誓書をご覧ください。

この後ローラ用ブラシ・キットは、常用型のリールモアに取り付けて使用する専門業務用の製品であり、そのよ  
うな業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、カッ  
ティングユニットの後ローラに付着する刈りかすなどの異物を払い落とすことにより、集約的で高度な管理を受  
けているスポーツフィールドや商用目的で使用される芝生の刈り上げりの見栄えを向上させることを主たる目  
的として製造されております。

## 組み立て

### 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	ローラブラシとリールモータの取り付け方 向を確認します。
2	必要なパーツはありません。	—	アイドラプーリー・アセンブリの位置を変更 します。
3	必要なパーツはありません。	—	ブラシカバーのドレンプラグをはずしま す。



手順	内容	数量	用途
4	ローラブラシハウジンググルーマなしで使用するためのもの	1	ローラブラシを取り付けます。
	六角穴ボルト, 3/8 x 1 in グルーマなしで使用するためのもの	2	
	ローラブラシ・アセンブリ	1	
	ショルダボルト	1	
	ベルトカバー/プレートアセンブリ	1	
	ボルト, 5/16 x 5/8 in	2	
	スペーサグルーマなしで使用するためのもの	1	
	駆動プーリ	1	
	フランジヘッドボルト, 3/8 x 2 in	1	
	ベルト	1	
	O リング 黄色 グルーマなしで、ブラシ・キット 03668 のみで使用する場合のもの	1	
	シムワッシャ必要に応じてベルトの整列に使用	1	
5	必要なパーツはありません。	—	高刈り用ブラシの取り付け

## その他の付属品

内容	数量	用途
オペレーターズマニュアル	1	取り付け・ご使用前にお読みください。
パーツカタログ	1	交換部品の注文にお使いください。

**注** 前後左右はカッティングユニットを後ろからみた時の方向で表します。

**重要** 後ローラ用ブラシキットは、刈高が 6-25 mm の範囲でのみ使用可能です。刈高が25mmを超える場合には、高刈り用ブラシパーツ番号 110-1740を使用してください。5 高刈り用ブラシオプション機器の取り付け (ページ 14)を参照してください。

後ローラブラシ・キット Model 03668 は以下の製品に対して使用することができます

リールマスター5210 および 5410トラクションユニット用カッティングユニットモデル 03661, 03694 および 03695

後ローラブラシ・キット Model 03688 は以下の製品に対して使用することができます

- リールマスター5510 および 5610トラクションユニット用カッティングユニットモデル 03681, 03682, 03693, 03696 および 03697
- リールマスター6500 および 6700トラクションユニット用カッティングユニットモデル 03863, 03864, 03698 および 03699

**注** グルーマキットとブラシキットの両方をカッティングユニットに取り付ける場合には、グルーマキットを先に取り付けてください。

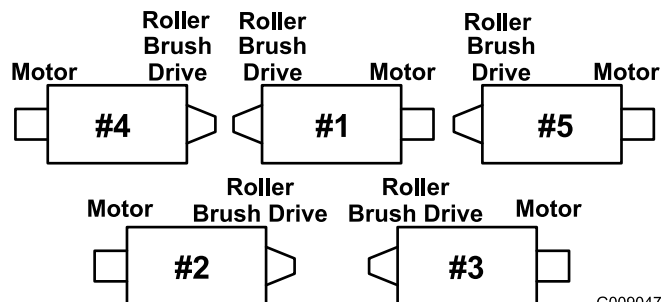
# 1

## ローラブラシの取り付け方向を確認する

必要なパーツはありません。

## 手順

どのカッティングユニットも、カウンタウェイトをカッティングユニットの左側に取り付けて出荷しています。ローラブラシ駆動部およびリールモータの位置を、以下の図で確認してください。



G009047  
g009047

図 1

**注** この説明書では、カッティングユニットの左側にカウンタウェイトを取り付ける場合を例にして、キットの取り付け手順を解説します。

# 2

## アイドラプーリ・アセンブリの位置を変更する

必要なパーツはありません。

### 手順

左前と左後のカッティングユニットについては、カッティングユニットの **右側** にアイドラプーリがくるよう、以下の手順で取り付け位置を変更してください **図 2**

1. カッティングユニットの左側からアイドラプーリ・アセンブリを取り外し、カッティングユニット右側にあるブラシプレートについている低い方の穴に取り付ける **図 2**。

**注** アイドラプーリが自由にピボット動作することを確認してください アイドラピボット・ボルトを締めすぎない注意が必要です。

2. キャリッジボルトとナットを外し、以前にアイドラプーリ・アセンブリが取り付けであった上穴にこれを移動させる **図 2**。

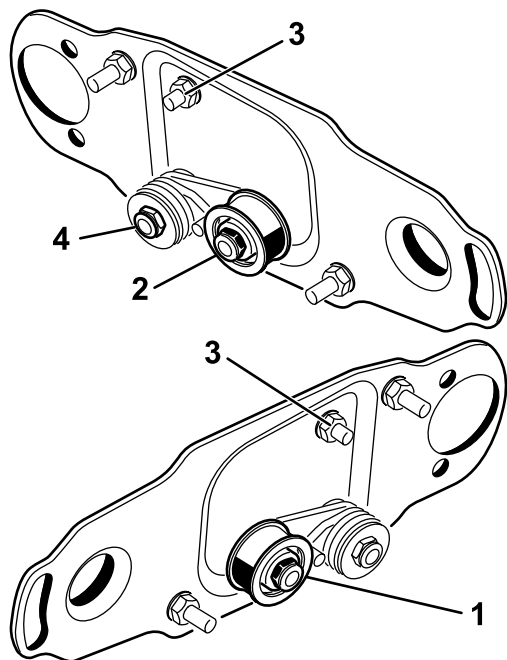


図 2

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. リール左側でのアイドラプーリの取り付け | 3. キャリッジボルトとナット             |
| 2. リール右側でのアイドラプーリの取り付け | 4. このロックナットを締めすぎないように注意すること |

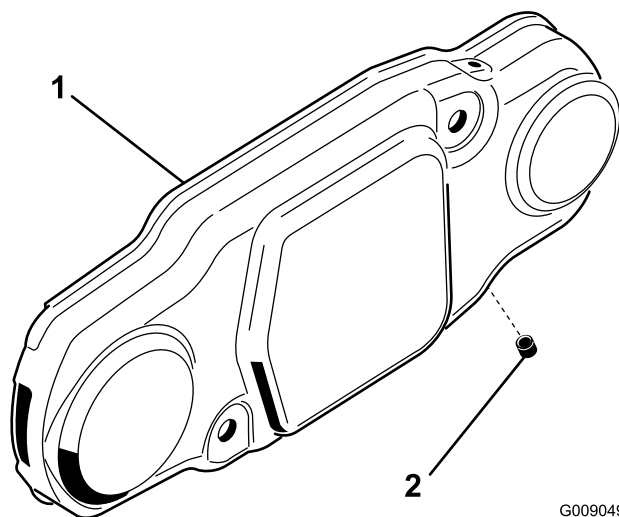
# 3

## ブラシカバーのドレンプラグをはずす

必要なパーツはありません。

### 手順

下側のドレンプラグ **図 3** のみを、ブラシカバーから外してください。これにより、ベルト部から水分を逃がします。



G009049  
g009049

図 3

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. ブラシカバー | 2. 下側のドレンプラグ |
|-----------|--------------|

# 4

## ローラブラシを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	ローラブラシハウジンググルーマなしで使用する ためのもの
2	六角穴ボルト, 3/8 x 1 in グルーマなしで使用する ためのもの
1	ローラブラシ・アセンブリ
1	ショルダボルト
1	ベルトカバー/プレートアセンブリ
2	ボルト, 5/16 x 5/8 in
1	スぺーサグルーマなしで使用するためのもの
1	駆動プーリ
1	フランジヘッドボルト, 3/8 x 2 in
1	ベルト
1	O リング 黄色 グルーマなしで、ブラシ・キット 03668 の みで使用する場合のもの
1	シムワッシャ 必要に応じてベルトの整列に使用

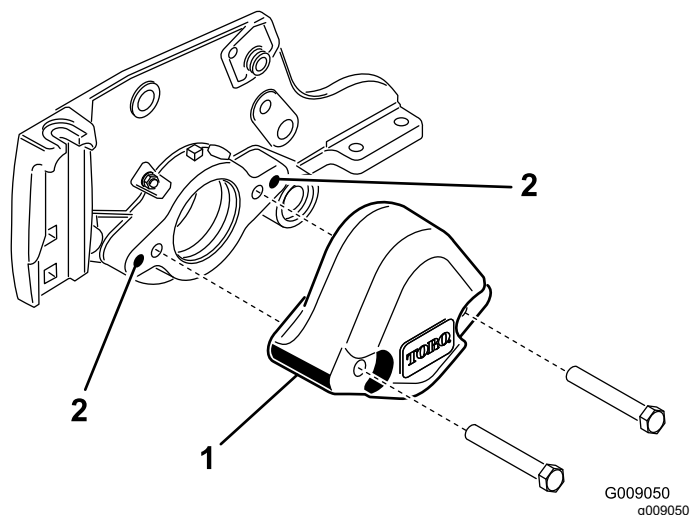


図 4

1. カウンタウェイト
2. これらの取り付け穴をきれいに  
にする

4. 3/8-16 タップを使って、サイドプレートの取り付け  
穴の内壁のペイントを除去する。図 4。
5. Model 03668 ローラブラシ・キットの場合には、  
ローラブラシハウジングに黄色の O リングをは  
める図 5。

**注** Model 03688, ローラブラシ・キットの場合に  
は、黒い O リングが既にはめてあるのでそれ  
を使う。

## グルーマの付いていないカッティング ユニットにブラシを取り付ける場合

カッティングユニットにグルーマが取り付けられていない  
場合には、以下の手順で行ないますカッティングユニ  
ットにグルーマが取り付けられている場合は、**グルー  
マの付いているカッティングユニットにブラシを取り付  
ける場合 (ページ 10) 取り付け要領へ進んでください。**

1. 平らな場所に停車して駐車ブレーキを掛ける。
2. カッティングユニットが OFF になっていることを  
確認する。エンジンを止め、キーを抜き取る。  
全部のカッティングユニットをトラクションユニ  
ットから外す。

**重要** カッティングユニットを希望の刈高および  
姿勢下刃角度にセットする。必要に応じて、後  
ローラブラシの取り付け前に、オペレーターズマ  
ニュアルにしたがってカッティングユニットの再設  
定を行なってください。

3. カウンタウェイトをカッティングユニットの左側に  
固定しているボルト2本を外す。カウンタウェイト  
を取り外す 図 4。

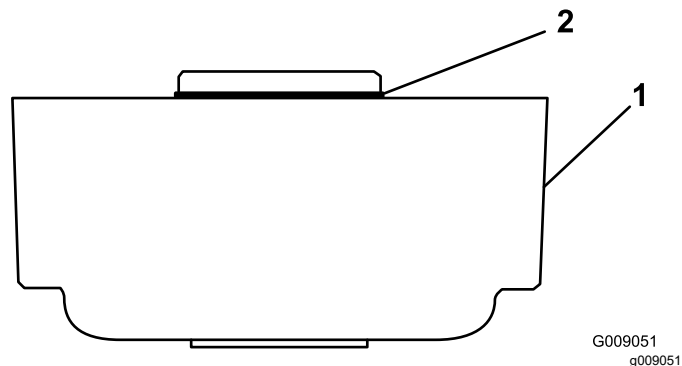
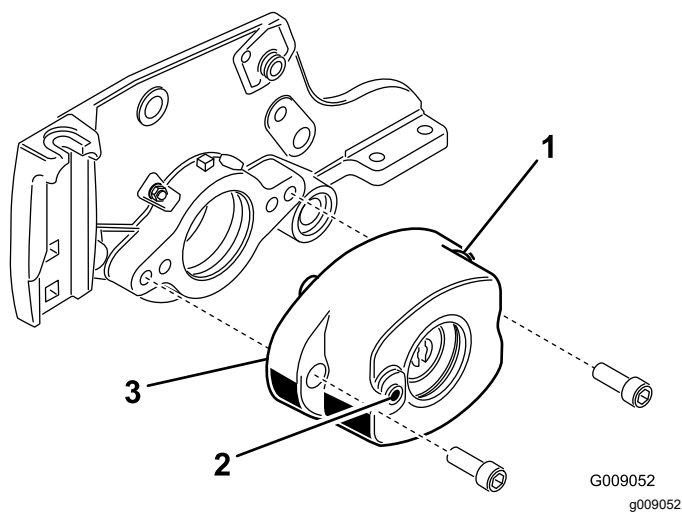


図 5

1. ローラブラシハウジング
2. 黄色の O リン  
グ Model 03668  
黒の O リング Model 03688

6. 六角穴ボルト 2 本 3/8 x 1 inch を使用して、ローラブラシハウジングをリールベアリングハウジングに取り付ける **図 6**。ローラブラシハウジングは、ねじ切りしてある穴がカッティングユニットの前側にくるように取り付ける。

**注** ローラブラシハウジングに O リングが正しい向きで取り付けられていることを確認する。

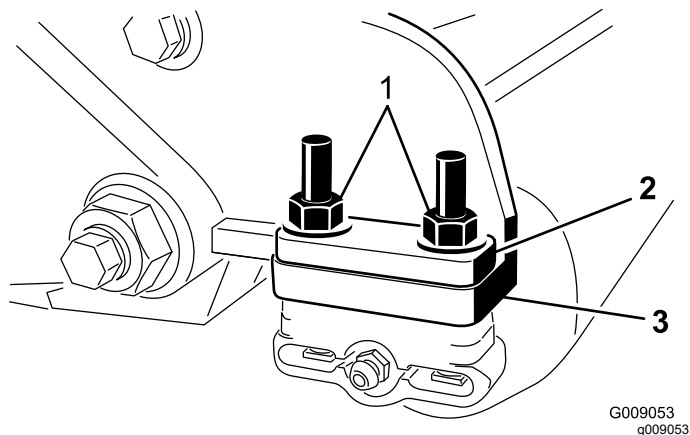


**図 6**

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 1. ローラブラシハウジング    | 3. 黄色の O リン<br>グ Model 03668<br>黒の O リン Model 03688 |
| 2. ハウジングに開けてあるねじ穴 |   |

7. 各ローラブラケットをサイドプレートに固定している 2 本のフランジロックナットを外す **図 7**。

**注** ボルトは外さないでください。また、サイドプレート取り付けフランジの上部についている 6mm スペーサはすべて取り外してください。

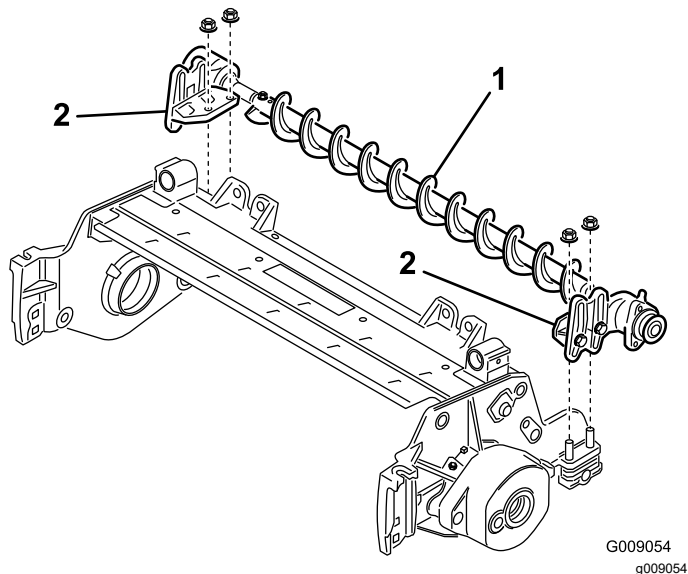


**図 7**

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. ローラのそれぞれの端部に<br>ついてのナットを外す。 | 3. サイドプレートの取り付け<br>フランジ |
| 2. 6mm スペーサ                    |                         |

8. ローラブラシ・アセンブリ取り付けブラケットを、ローラブラケットボルトにセットする **図 8**。ブラシ

アセンブリ取り付けブラケットを、カッティングユニットのサイドプレートに固定する先ほど取り外したナットを使用。



**図 8**

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1. ローラブラシ・アセンブリ | 2. ローラブラシ取り付けブラ<br>ケット |
|-----------------|------------------------|

**重要** ローラブラシ・アセンブリ取り付けブラケットは、カッティングユニットのサイドプレート取り付けフランジの上面に直接固定する必要があります。ローラブラシ取り付けブラケットとサイドプレート取り付けフランジとの間にスペーサなどを挟まないでください。ローラブラシ取り付けブラケットの上部に、追加の 6mm スペーサを取り付けてください **図 9**。

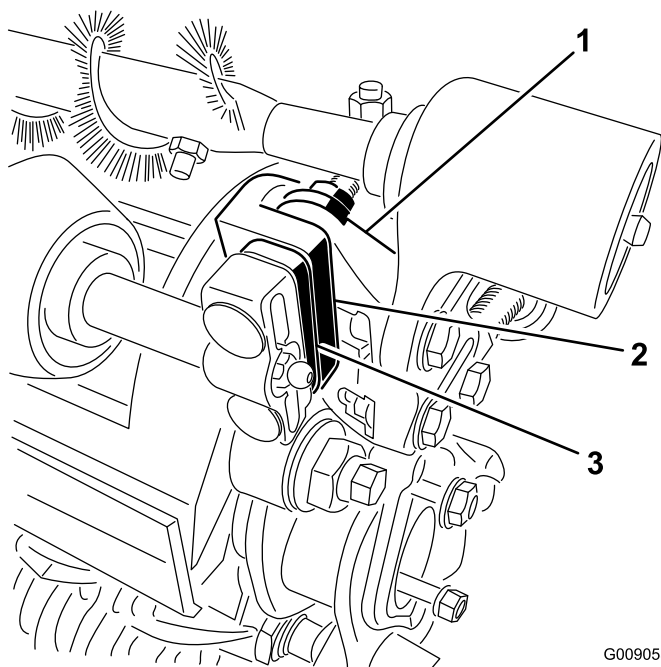


図 9

G009055  
g009055

1. ローラブラシ取り付けブラケット
2. カuttingユニットのサイドプレート取り付けフランジ
3. 追加の 6mm 1/4 インチスベアサ

9. 各エクスクルーダシールを外側にずらし、シールのリップがそれぞれのベアリングハウジングに軽く接触するようにする 図 10。

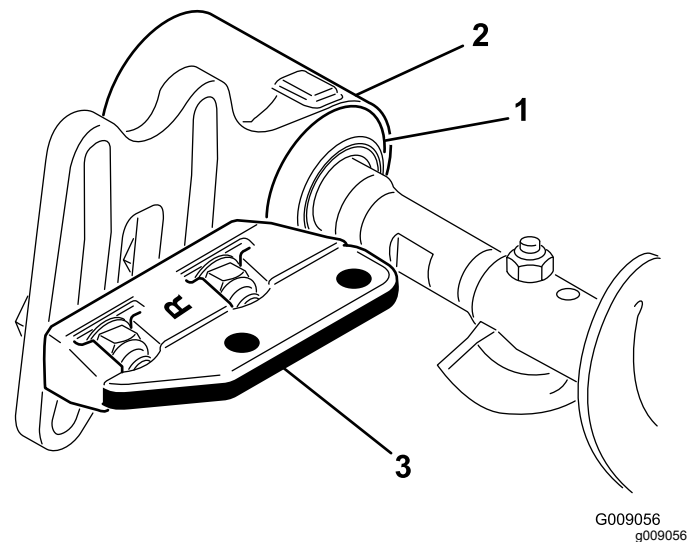


図 10

G009056  
g009056

1. エクスクルーダシール
2. ベアリングハウジング
3. 取り付けブラケット

10. ベアリングハウジングのグロメットの内側にグリスを塗る 図 11。

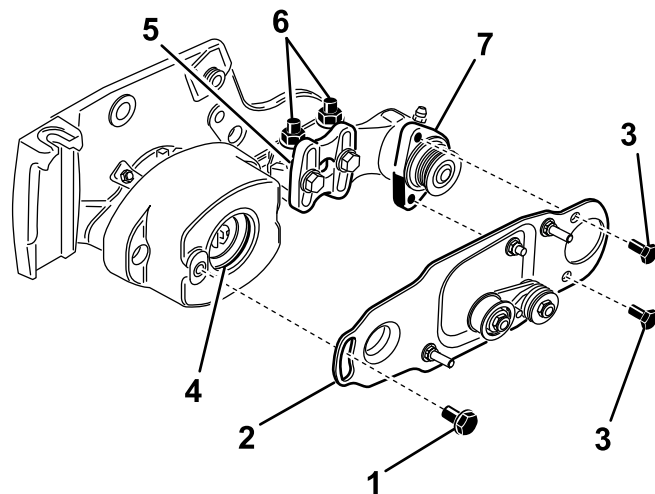


図 11

g352161

1. ショルダボルト
2. ブラシプレート
3. ボルト
4. ベアリングハウジングのグロメット
5. ローラブラシ取り付けブラケット
6. フランジロックナット
7. ローラブラシベアリングハウジング

11. ローラブラシベアリングハウジングをローラブラシ取り付けブラケットに固定しているボルトをゆるめる 但し外さないこと 図 11。
12. ローラブラシピボットプレートを取り付ける 図 11。ピボットプレートの突起部をベアリングハウジングのグロメットに差し込んだ時、グロメットの位置がずれないように注意すること。

**注** ローラブラシ・ピボットプレートを動作させたときにグロメットゴムからの抵抗がまったくなく、自由にピボット動作できれば、取り付けは適切です。

13. 5/16 x 5/8 in ボルト2本に 242 ロクタイト青を塗り、これを使ってブラシプレートをローラブラシベアリングハウジングに取り付ける 図 11。ボルトを 20-26 N・m にトルク締めする。
14. ローラブラシプレートがカuttingユニットのサイドプレートに平行になっているかどうか点検する。平行でない場合は、以下の作業を行う
  - ローラブラシ取り付けブラケットをカuttingユニットのサイドプレートに固定しているフランジナット2個をゆるめる 図 11。
  - ブラシプレートがカuttingユニットのサイドプレートに平行になるまでローラブラシベアリングハウジングを回転させる 図 11。
  - ローラブラシ取り付けブラケットをカuttingユニットのサイドプレートに固定しているフランジナット2個を締め込む 図 11。
15. 各ローラブラシ・ベアリングハウジングをローラブラシ取り付けブラケットに固定しているボルト2本をゆるめる 図 12と図 13。



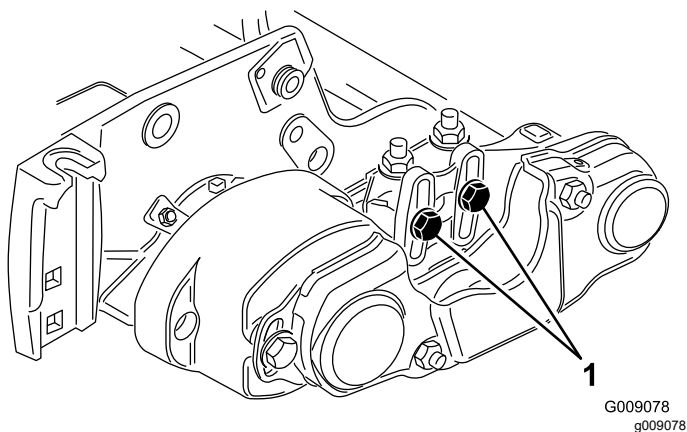


図 12

1. これらのボルトをゆるめる。

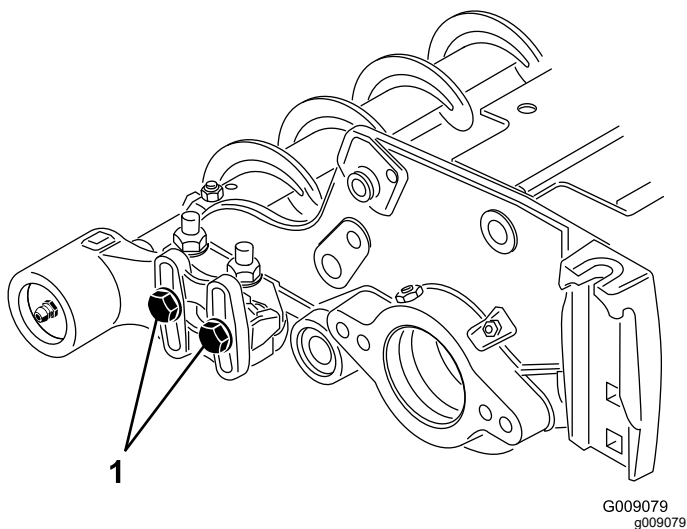


図 13

1. これらのボルトをゆるめる。

16. ローラブラシが、後ローラに軽く接触するローラに軽く載った状態になるようにローラブラシの位置を決める 図 14。

**重要** ローラブラシのシャフトがカッティングユニットのサイドプレートに接触してはいけません。

**重要** ローラとブラシが強く接触しすぎると、ブラシが早く磨耗してしまいます。

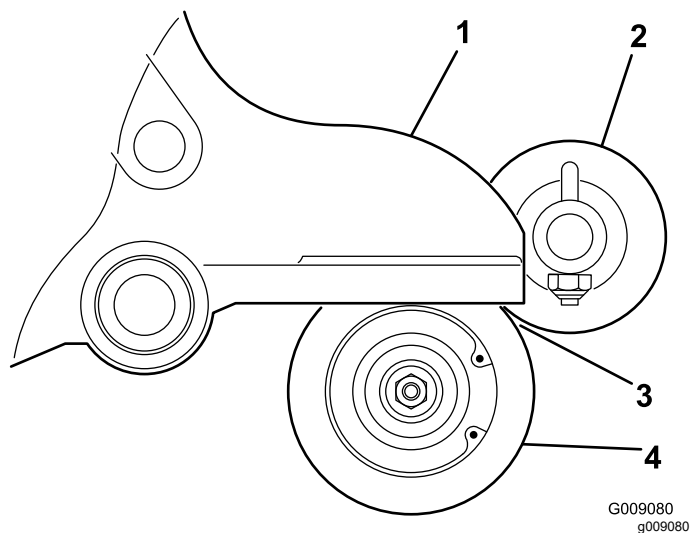


図 14

- |            |                  |
|------------|------------------|
| 1. サイドプレート | 4. 後ローラ          |
| 2. ローラブラシ  | 5. ここにすき間をつくること。 |
| 3. 軽い接触    |                  |

**注** ローラブラシのシャフトが後ローラに対して平行でなければいけません。

**注** 非駆動側のローラブラシベアリングハウジングの取り付け向きは、駆動側ハウジングと同じ向きでなければいけません。

17. 各ローラブラシベアリングハウジングをローラブラシ取り付けブラケットに固定しているボルト各 2 本を締め付ける。
18. ショルダボルトにロクタイト242青を塗布する 図 11。ショルダボルトを使って、ブラシプレートはローラブラシハウジングに取り付ける。(図 11)。ボルトを20-26 N・m にトルク締めする。

**注** ショルダボルトがプレートをハウジングに対して締め付けてはいけません。

19. ベアリングハウジングのシャフトにスペーサを挿入する 図 15。
20. スペーサに駆動プーリを取り付けて駆動シャフトに通す 図 15。プーリのタブが駆動シャフトのスロットにきっちりと嵌まるように取り付けること。
21. フランジヘッドボルト3/8 x 2 inchを使ってプーリとスペーサを駆動シャフトに固定する 図 15。ボルトを 47-54 N・m (35-40 ft-lb = 4.8-5.5 kg.m) にトルク締めする。

**重要** ボルトが正しくトルク締めされていないと、ボルトがゆるんでいきます。



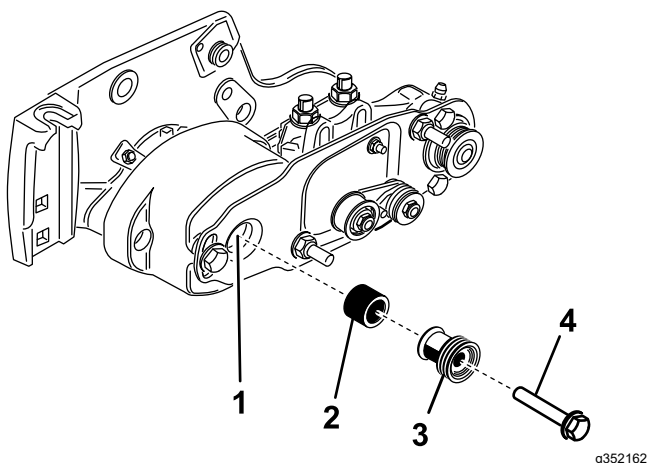


図 15

- |           |  |
|-----------|--|
| 1. 駆動シャフト | 3. 駆動プーリ   |
| 2. スペーサ   | 4. ボルトを47-54 N・m35-40<br>ft-lb = 4.8-5.5 kg.mにトル<br>ク締めする。 |

22. 以下の手順で、プーリにベルトを取り付ける
- 受動プーリにベルトを回しかけ、次にアイドルプーリに上からベルトを掛ける 図 16。

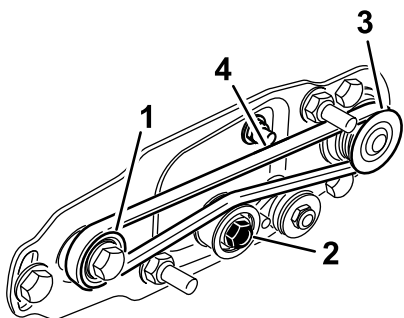


図 16

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. 駆動プーリ        | 3. 受動プーリ |
| 2. アイドラプーリアセンブリ | 4. ベルト   |

- 駆動プーリを回してベルトを回転させる 図 16。
- 駆動プーリからベルトが外れないようにしながらリールを前転させて駆動プーリ全体にベルトを掛ける。

**注** リールを回すときにはパッドのついている手袋や厚いウェスなどを使用すること。

**重要** ベルトのリップを各プーリに正しくはめ込んでください。また、ベルトがアイドルプーリの中心を通るようにセットしてください。

23. アイドラプーリを手で押し下げて、アイドルプーリ・アセンブリが自由にピボット動作することを確認する。
24. ベルトとプーリの整列を以下の要領で点検する
- ベルトの整列は、ベルトが適切な張りに調整取り付けられた状態で行なう。

- 駆動プーリの外側面に直定規を当てる 図 17。駆動プーリと受動プーリの両方に直定規を当てないこと。
- 駆動プーリと受動プーリの外側面が面一であること誤差 0.76mm以内。
- プーリが整列していない場合には、プーリの整列 (ページ 16)を参照。
- 整列している場合には、取り付けを続ける。
- アイドルプーリで調整を行ってはならない。

**重要** プーリが正しく整列していないと、ベルトが早期に破損する恐れがある。

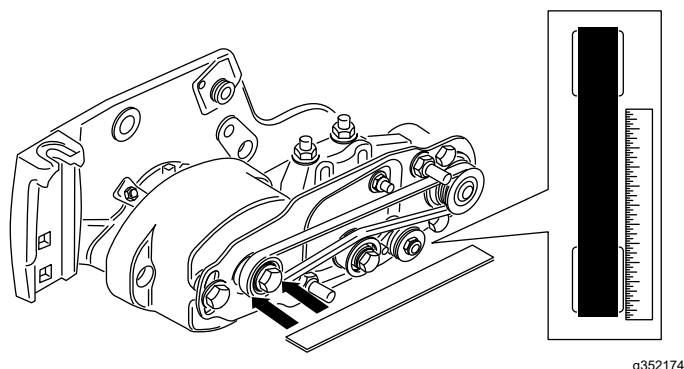


図 17

25. ベルトカバーを取り付けボルトに取り付けてフランジナット2個で固定する 図 18。

**重要** ナットを締め付けすぎるとカバーが破損するので注意すること。

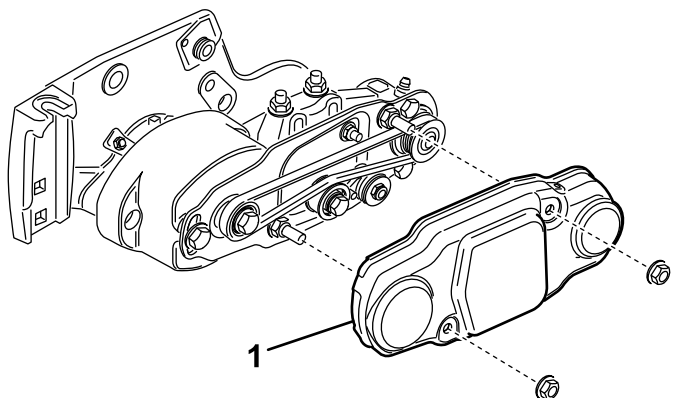


図 18

1. ベルトカバー

26. 左右のローラブラシ・ベアリングハウジングのグリス注入部、および、カッティングユニットのその他のグリス注入部に、No.2汎用リチウム系グリスを注入する 図 19。はみ出したグリス、特にエクスクルーダシールの周囲のグリスはよくふき取る。

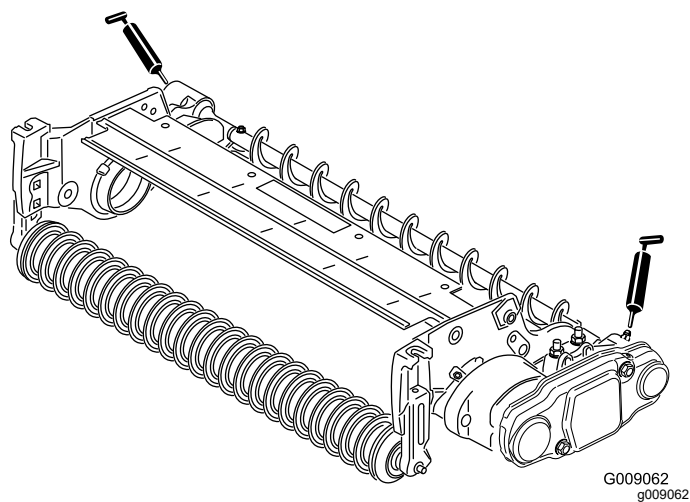


図 19

## グルーマの付いているカッティングユニットにブラシを取り付ける場合

**注** グルーマキットとブラシキットの両方をカッティングユニットに取り付ける場合には、グルーマキットを先に取り付けてください。

1. グルーマカバー取り付けナット2個を外して、カバーを外す 図 20。

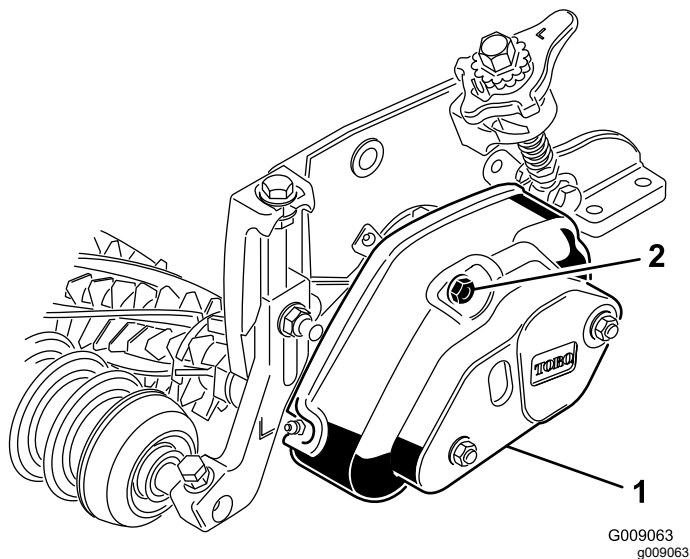


図 20

1. グルーマカバー
2. カバー取り付けナット2個

2. グルーマのウェイトをグルーマカバーに固定している 5/16 in フランジナット2個を外してウェイトを取り外す 図 21。

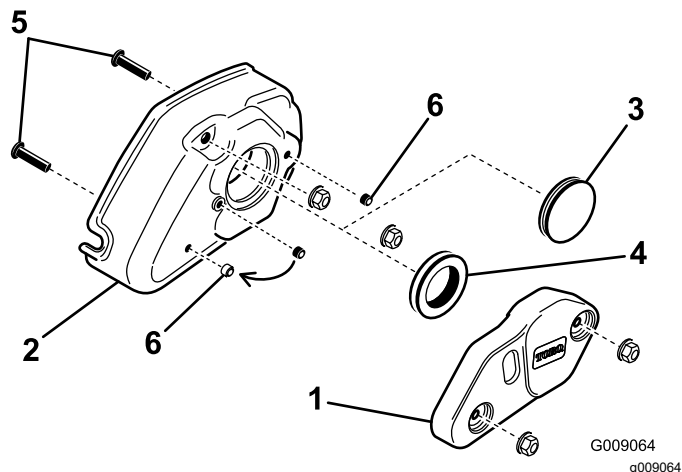


図 21

1. グルーマウェイト外す
2. グルーマカバー
3. むくのグロメット外す
4. ゴム製のグロメットリング
5. カバーねじ取り外す
6. 固定ネジ2本

3. カバーについているむくのハトメを取り外してゴム製のグロメットリングに交換する 図 21。
4. カバーにねじ込んである 5/16 x 1-1/4 ねじ2本を取り外す 図 21。
5. グルーマカバーのセンター穴から固定ねじを取り外す 図 21。

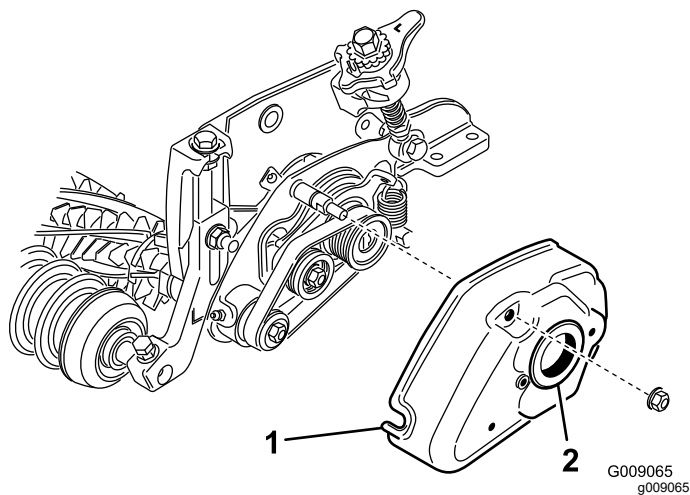


図 22

1. グルーマカバー
2. グロメット

6. 先ほど取り外した固定ねじ、およびグルーマキットの付属品に入っている固定ねじを、先ほどまでカバー取り付けねじに使っていた穴に取り付ける。取り付ける前に、ねじ山部分にロクタイト 242 青を塗りつける。

**注** 固定ねじはグルーマカバーと面一にならないといけない。

7. グルーマカバーを取り付けて 5/16 in フランジナット2個で固定する 図 22。

**重要ナットを締めすぎないようにすること。**

8. グロメットカバーについているグロメットの内側にグリスを塗る 図 22。
9. 各ローラブラケットをサイドプレートに固定している2個のナットを外す 図 23。ボルトは外さないこと。

**注** サイドプレート取り付けフランジの上部についている6mmスペーサはすべて取り外してください。

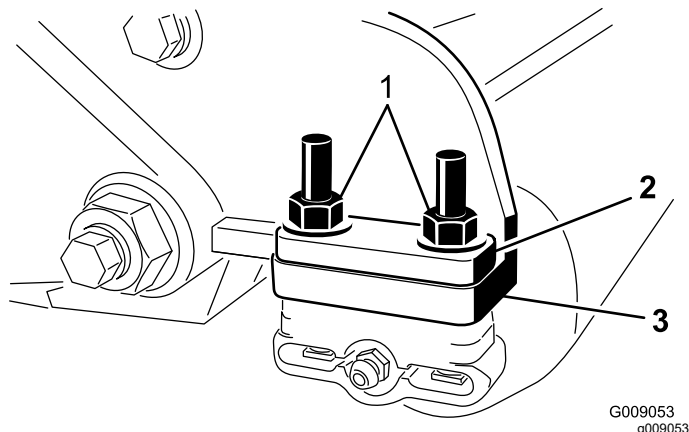


図 23

1. ローラのそれぞれの端部についているナットを外す。
2. 6mm スペーサ
3. サイドプレートの取り付けフランジ

ローラブラシ取り付けブラケットとサイドプレート取り付けフランジにスペーサなどを挟まないでください。ローラブラシ取り付けブラケットの上部に、追加の6mmスペーサを取り付けてください 図 25。

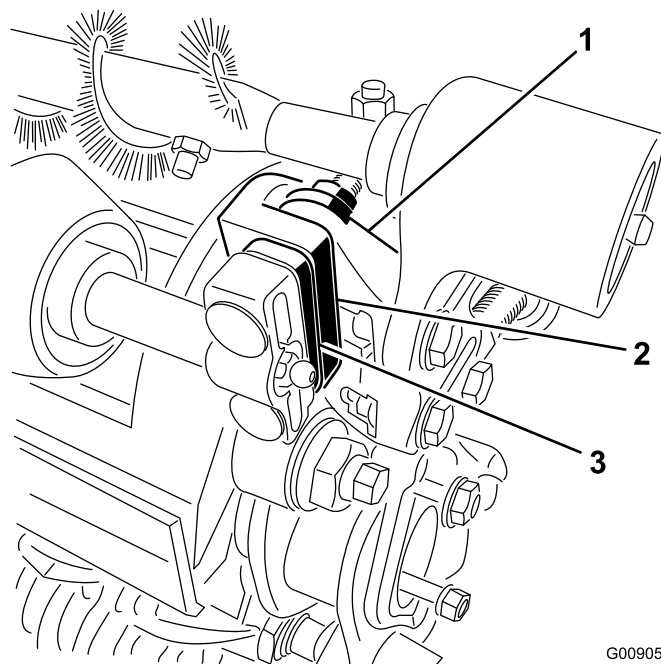


図 25

1. ローラブラシ取り付けブラケット
2. カuttingユニットのサイドプレート取り付けフランジ
3. 追加の6mm 1/4 インチスペーサ

10. ローラブラシ・アセンブリ取り付けブラケットを、ローラブラケットボルトにセットする 図 24。ブラシアセンブリ取り付けブラケットを、カuttingユニットのサイドプレートに固定する先ほど取り外したナットを使用。

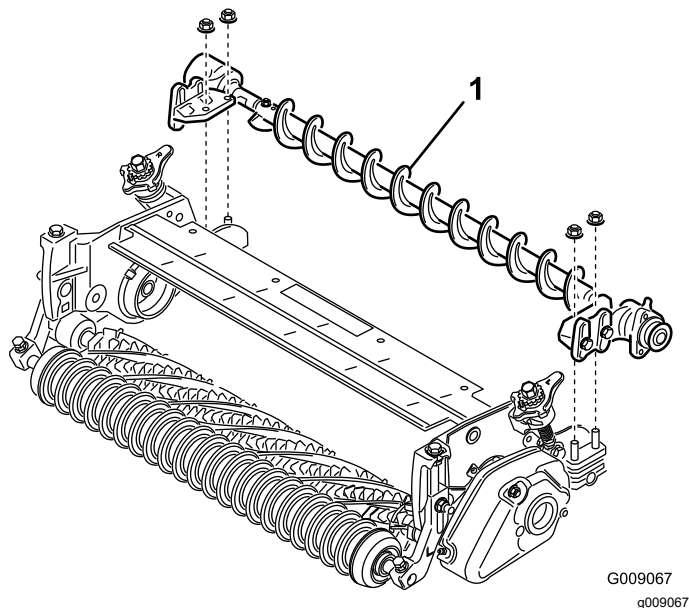


図 24

1. ローラブラシ・アセンブリ

**重要** ローラブラシ・アセンブリ取り付けブラケットは、カuttingユニットのサイドプレート取り付けフランジの上面に直接固定する必要があります。

11. 各エクスクルーダシールを外側にずらし、シールのリップがそれぞれのベアリングハウジングに軽く接触するようにする 図 26。

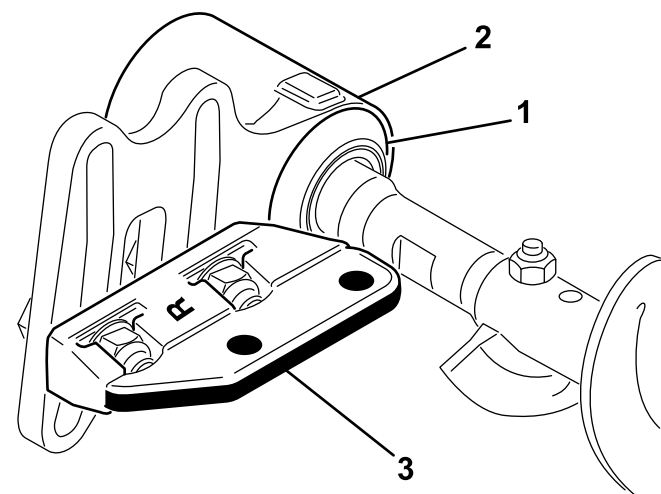


図 26

1. エクスクルーダシール
2. ベアリングハウジング
3. 取り付けブラケット

12. ローラブラシベアリングハウジングをローラブラシ取り付けブラケットに固定しているボルトをゆるめる 但し外さないこと 図 27。
13. ローラブラシピボットプレートを取り付ける 図 27。  
ピボットプレートの突起部をグルーマカバーのグロメットに差し込んだ時、グロメットがカバーに正しく着座しているように注意すること。

**注** ローラブラシ・ピボットプレートを動作させたときにグロメットゴムからの抵抗がまったくなく、自由にピボット動作できれば、取り付けは適切です。

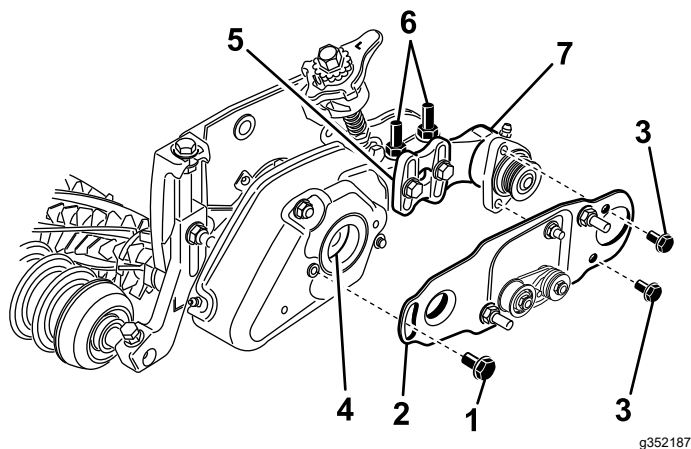


図 27

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. ショルダボルト          | 5. ローラブラシ取り付けブラケット  |
| 2. ブラシプレート          | 6. フランジロックナット       |
| 3. ボルト              | 7. ローラブラシベアリングハウジング |
| 4. ベアリングハウジングのグロメット |                     |

14. 5/16 x 5/8 in ボルト2本に 242 ロクタイト青を塗り、これを使ってブラシプレートをローラブラシベアリングハウジングに取り付ける 図 27。ボルトを 20-26 N・m にトルク締めする。
15. ローラブラシプレートがカuttingユニットのサイドプレートに対して平行であることを確認する。もし平行でない場合には以下の手順で調整する
  - ローラブラシ取り付けブラケットをカuttingユニットのサイドプレートに固定しているフランジナット2個をゆるめる 図 27。
  - ブラシプレートがカuttingユニットのサイドプレートに平行になるまでローラブラシベアリングハウジングを回転させる 図 27。
  - ローラブラシ取り付けブラケットをカuttingユニットのサイドプレートに固定しているフランジナット2個を締め込む 図 27。
16. 各ローラブラシ・ベアリングハウジングをローラブラシ取り付けブラケットに固定しているボルト2本をゆるめる 図 12と図 13。

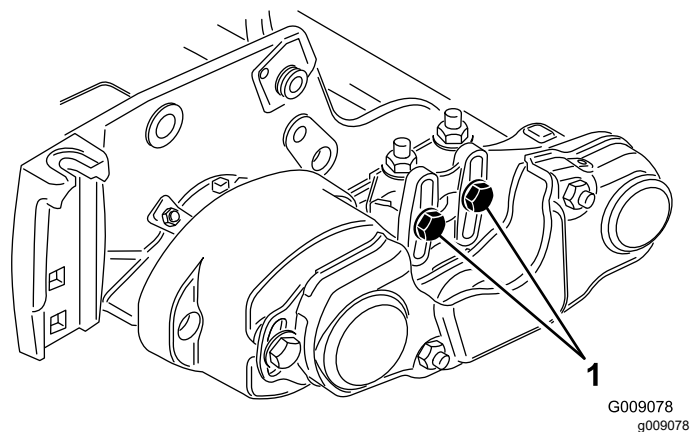


図 28

1. これらのボルトをゆるめる。

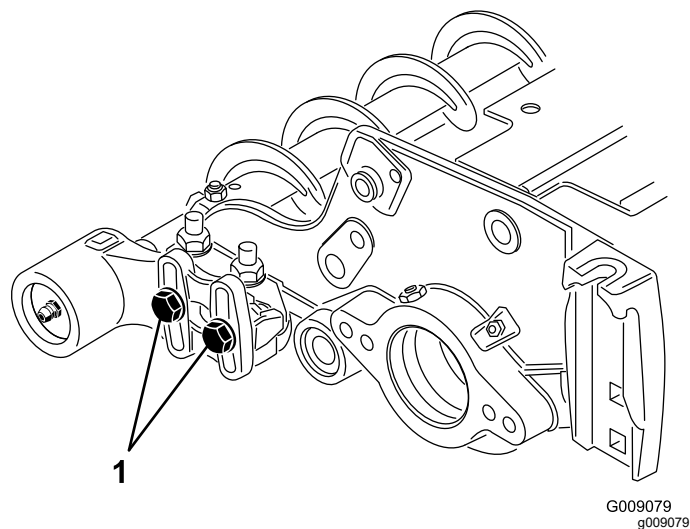


図 29

1. これらのボルトをゆるめる。

17. ローラブラシが、後ローラに軽く接触するローラに軽く載った状態になるようにローラブラシの位置を決める 図 14。

**重要** ローラブラシのシャフトがカuttingユニットのサイドプレートに接触してはいけません。

**重要** ローラとブラシが強く接触しすぎると、ブラシが早く磨耗してしまいます。



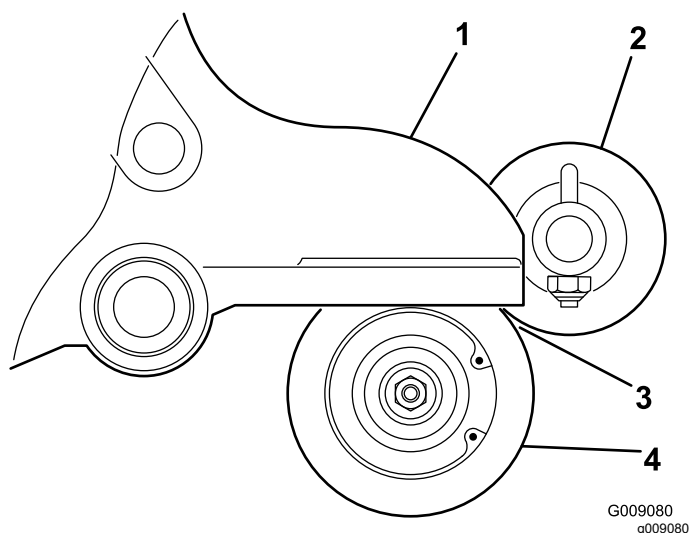


図 30

- |            |                  |
|------------|------------------|
| 1. サイドプレート | 4. 後ローラ          |
| 2. ローラブラシ  | 5. ここにすき間をつくること。 |
| 3. 軽い接触    |                  |

**注** ローラブラシのシャフトが後ローラに対して平行でなければいけません。

**注** 非駆動側のローラブラシベアリングハウジングの取り付け向きは、駆動側ハウジングと同じ向きでなければいけません。

18. 各ローラブラシベアリングハウジングをローラブラシ取り付けブラケットに固定しているボルト各 2 本を締め付ける。
19. ショルダボルトにロクタイト242青を塗布する [図 27]。ショルダボルトを使って、ブラシプレートをグルーマカバーに取り付ける。( [図 27] )。ボルトを 20-26 N·m にトルク締めする。

**注** ショルダボルトがプレートをハウジングに対して締め付けてはいけません。

20. グルーマプーリを駆動シャフトに固定しているボルトを取り外す [図 31]。
21. ブラシ駆動プーリをグルーマ駆動プーリに差し込んで駆動シャフトに通す [図 31]。プーリのタブが駆動シャフトのスロットにきっちりと嵌まるように取り付けること。
22. フランジヘッドボルト 3/8 x 2 in を使って駆動プーリをシャフトに固定する [図 31]。ボルトを 4754N·m (4.85.5kg.m = 3540ft-lb) にトルク締めする。

**重要** ボルトが正しくトルク締めされていないと、ボルトがゆるんできます。

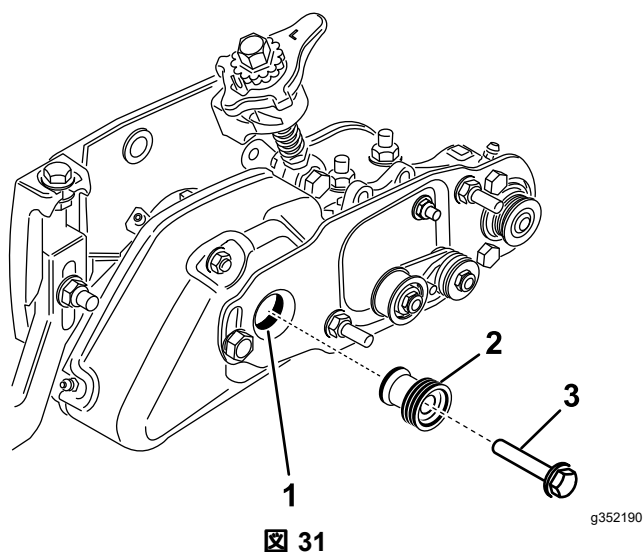


図 31

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1. グルーマプーリ取り付けボルト取り外す | 3. ボルト 4754N·m 3540ft-lb = 4.85.5kg.m にトルク締めする |
| 2. 駆動プーリ              |  |

23. 以下の手順で、プーリにベルトを取り付ける

- 受動プーリにベルトを回しかけ、次にアイドルプーリに上からベルトを掛ける [図 32]。

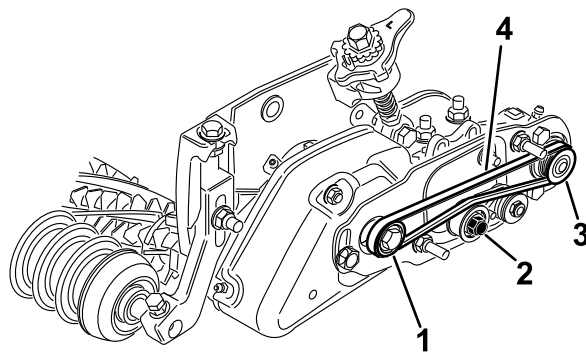


図 32

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. 駆動プーリ        | 3. 受動プーリ |
| 2. アイドラプーリアセンブリ | 4. ベルト   |

- 駆動プーリを回してベルトを回転させる [図 32]。
- 駆動プーリからベルトが外れないようにしながらリールを前転させて駆動プーリ全体にベルトを掛ける。

**注** リールを回すときにはパッドのついている手袋や厚いウェスなどを使用すること。

**重要** ベルトのリブを各プーリに正しくはめ込んでください。また、ベルトがアイドルプーリの中心を通るようにセットしてください。

24. アイドラプーリを手で押し下げて、アイドルプーリ・アセンブリが自由にピボット動作することを確認する。

25. ベルトとプーリの整列を以下の要領で点検する
- ベルトの整列は、ベルトが適切な張りに調整取り付けられた状態で行なう。
  - **駆動** プーリの外側面に直定規を当てる [図 33](#)。駆動プーリと受動プーリの両方に直定規を当て **ない** こと。

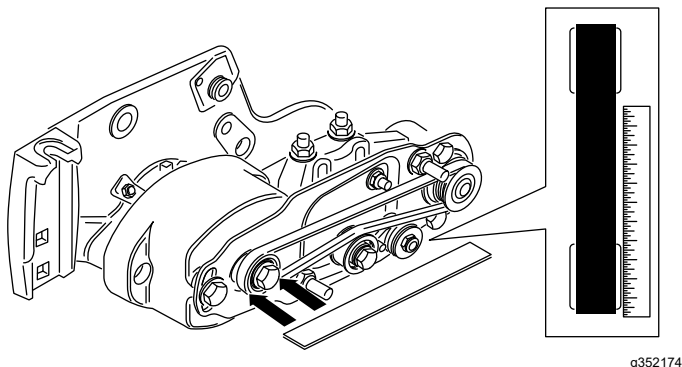


図 33

- 駆動プーリと受動プーリの外側面が面一であること誤差 0.76 mm以内。
- 整列していない場合には、「プーリの整列」を参照。
- 整列している場合には、取り付けを続ける。
- アイドラプーリで調整を行ってはならない。

**注** プーリが正しく整列していないと、ベルトが早期に破損する恐れがある。

26. ベルトカバーを取り付けボルトに取り付けてフランジナット2個で固定する [図 34](#)。

**重要** ナットを締め付けすぎるとカバーが破損するので注意すること。

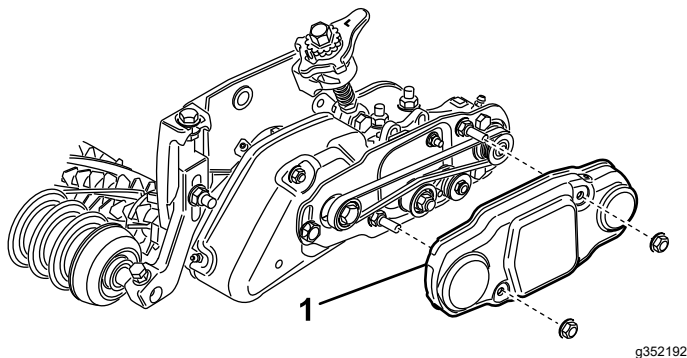


図 34

1. ベルトカバー

27. 左右のローラブラシベアリングハウジングのグリス注入部、および、カッティングユニットのその他のグリス注入部に、No.2汎用リチウム系グリスを注入する [図 35](#)。

**注** はみ出したグリス、特にエクスクルーダシールの周囲のグリスはよくふき取る。

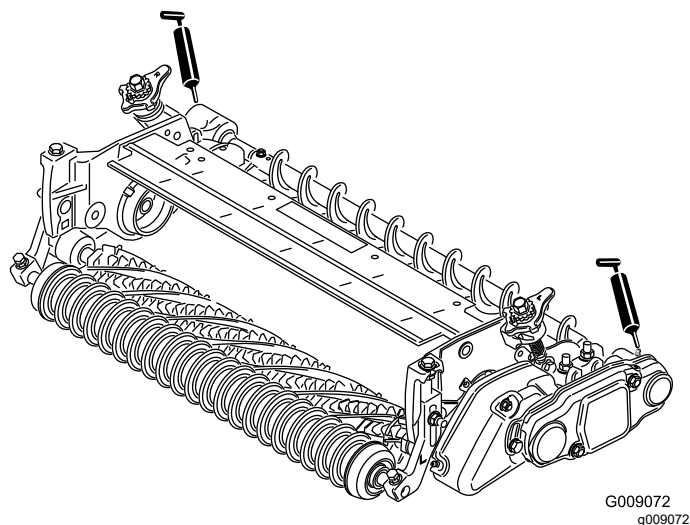


図 35

## 5

### 高刈り用ブラシオプション機器の取り付け

必要なパーツはありません。

#### 手順

刈高設定が 25mm を超える場合サイドプレートのパッドの下スペースが5枚以上になる場合には、高刈りブラシパーツ番号 110-1740を取り付けてください。

1. カッティングユニットにローラブラシが取り付けられている場合には、非駆動側ベアリングハウジングをベアリングハウジング取り付けブラケットに固定しているボルト2本を外す [図 36](#)と[図 37](#)。

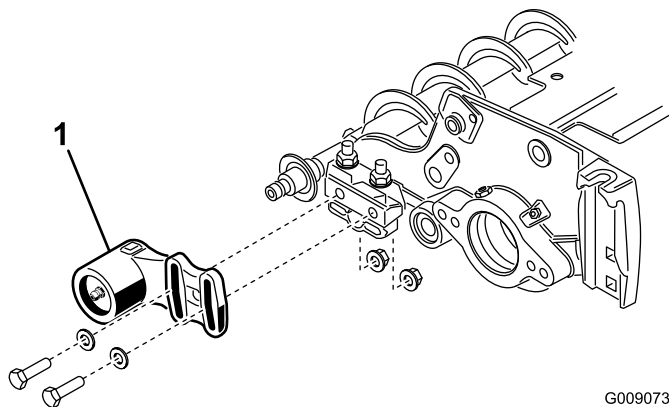


図 36

1. 非駆動側ベアリングハウジング

2. 非駆動側ベアリングハウジングとエクスクルーダシールをシャフトから取り外す 図 37。

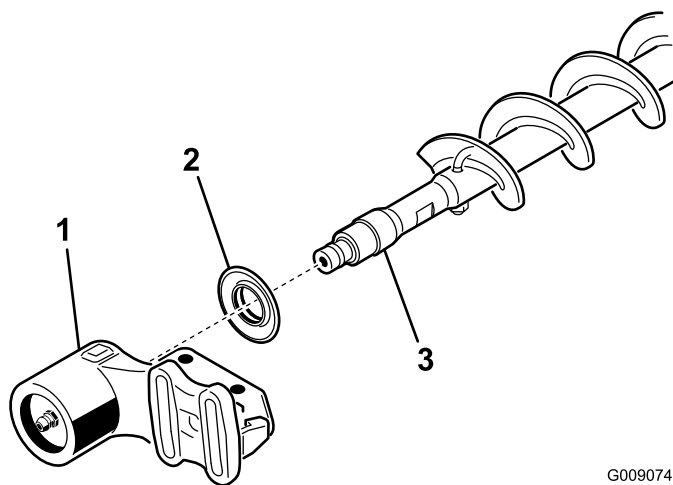


図 37

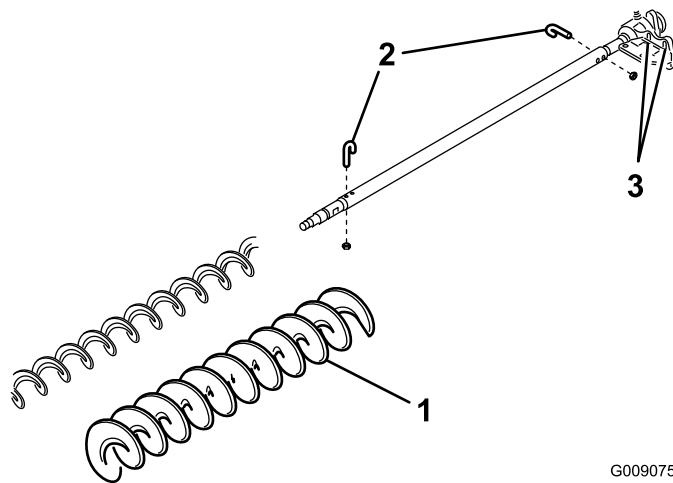
G009074  
g009074

1. 非駆動側ベアリングハウジング
2. エクスクルーダシール
3. ブラシシャフト

3. ボルトとナット各 2 を外す 図 38。
4. ブラシシャフトについている既存のブラシを抜取る 図 38。
5. 駆動側ベアリングハウジングをベアリングハウジング取り付けブラケットに固定しているボルト各 2 本とワッシャおよびナットをゆるめる 図 38。
6. ブラシシャフトに、高刈り用ブラシを取り付ける 図 38。
7. 先ほど外した J ボルトとナット各 2 を使って、ブラシをシャフトに固定する 図 38。

**重要** ボルトのねじ切りされている側を、ブラシシャフトの外側の穴に通し、字に曲がっている側を内側の穴に引っ掛ける。

8. Jボルトのロックナットを 2-3 N・m20-25 in-lb=0.23-0.29 kg.mにトルク締めする。



G009075  
g009075

図 38

1. 高刈り用ブラシ
2. ボルト
3. これらのボルトをゆるめる。

9. 非駆動側ベアリングハウジングとエクスクルーダシールをブラシシャフトに取り付ける 図 37。
10. 先ほど外したボルト 2 本とワッシャおよびナットを使って、非駆動側ベアリングハウジングをベアリングハウジング取り付けブラケットに固定する。シールスプリングを落とさないように注意すること。
11. 駆動側ベアリングハウジングをベアリングハウジング取り付けブラケットに固定しているボルト各 2 本とワッシャおよびナットを締め付ける。



# 保守

1. ブラシがローラと平行になっていること、そしてローラとの間のすき間が、1.5 mm で軽い接触があることを確認する。
2. 50 運転時間ごと、また、機体を洗浄したときはその直後にグリスアップを行なう。
3. ローラブラシを交換した場合には、Jボルトを 2-3 N·m20-25 in·lb=0.23-0.29 kg.m にトルク締めする。
4. ブラシシャフトの受動プーリを交換した場合には、ナットを 37-45 N·m3.7-4.5 kg.m にトルク締めする。
5. ブラシの駆動プーリを交換した場合には、ボルトを 47-54 N·m35-40 ft·lb=4.8-5.5 kg.m にトルク締めする。

**重要** バックラップをするときの回転速度が不適切であると駆動プーリをゆるめてしまう恐れがあります。バックラップ手順の詳細についてはカッティングユニットのオペレーターズマニュアルを参照してください。

6. ローラブラシ、アイドラベアリング、ベルトは消耗部品です。

## プーリの整列

1. 受動プーリローラのシャフト位置は内外に動かすことができます 図 39。プーリをどちらに動かす必要があるのか確認する。

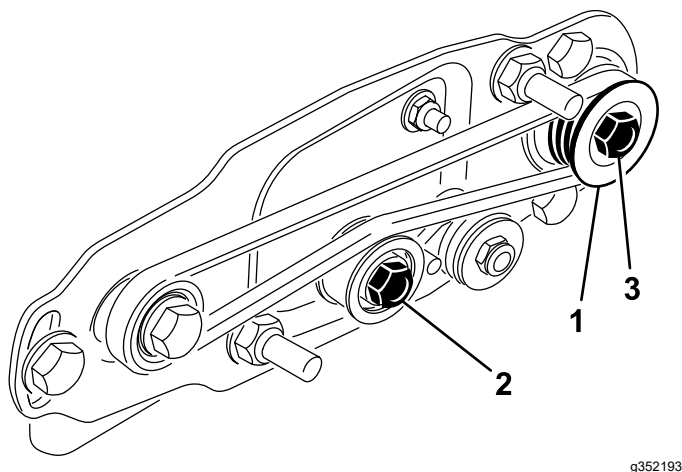


図 39

1. 受動プーリ
2. アイドラプーリ
3. 受動プーリのナット

2. リールを回しながらつまり駆動プーリを回しながら、駆動プーリからベルトをはずす 図 39。

**注** リールを回すときにはパッドのついている手袋や厚いウェスなどを使用すること。

3. 受動プーリをブラシシャフトに固定しているロックナットを取り外す 図 39 または 図 40。シャフトが回転しないように、ローラブラシシャフトの平面に 1/2 in レンチを差し込む。
  4. シャフトから受動プーリを取り外す 図 40。
  5. プーリを外側に出したい場合には、0.8 mm 0.032 インチ厚のスペーサを1枚入れる 図 40。
- 注** プーリを内側に入れたい場合には、0.8 mm 厚のスペーサを1枚抜き取る。
6. プーリを取り付ける。

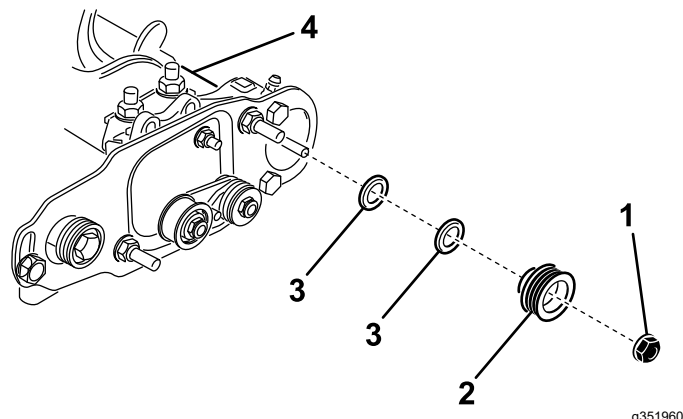


図 40

1. ロックナット
2. 受動プーリ
3. スペーサ厚さ 0.8mm
4. ブラシシャフトの平面

7. ローラブラシのシャフトの平面を押さえながら、先ほど外したフランジナット 3/8-16 を使って、プーリをシャフトに固定する。ロックナットをセットし、37-45 N·m3.7-4.6 kg.m にトルク締めする。
8. 以下の手順で、プーリにベルトを取り付ける
  - 受動プーリにベルトを回しかけ、次にアイドラプーリに上からベルトを掛ける 図 16。

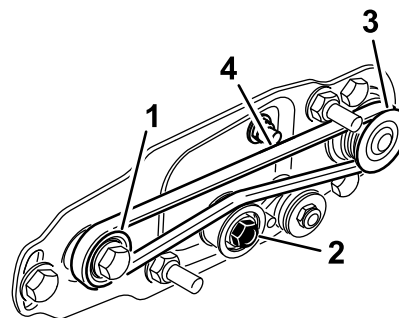


図 41

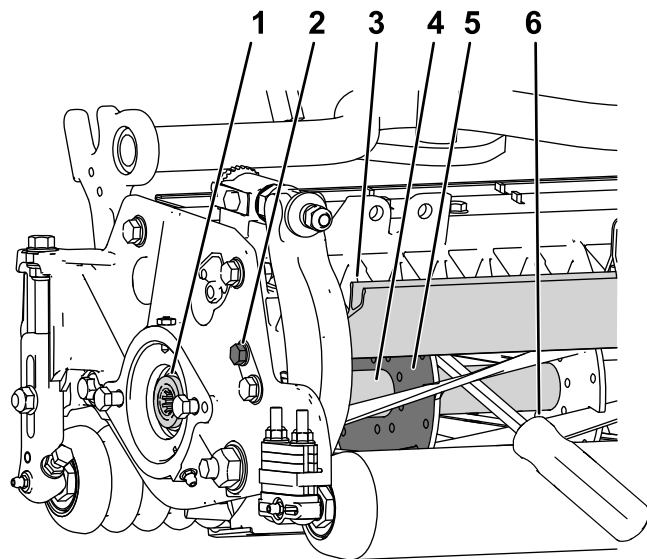
1. 駆動プーリ
2. アイドラプーリアセンブリ
3. 受動プーリ
4. ベルト

- 駆動プーリを回してベルトを回転させる 図 16。
- 駆動プーリからベルトが外れないようにしながらリールを前転させて駆動プーリ全体にベルトを掛ける。

注 リールを回すときにはパッドのついている手袋や厚いウェスなどを使用すること。

**重要** ベルトのリップを各プーリに正しくはめ込んでください。また、ベルトがアイドラプーリの中心を通るようにセットしてください。

9. プーリの整列を確認する。必要に応じて修正してください。



g280383

図 42

1. 取り外すべきねじ山付きインサート
2. シールドのボルトをゆるめる。
3. 後部シールド
4. リールシャフト
5. リール支持プレート
6. リールサポートプレートの溶接側に沿って差し入れたバール。

4. バールの握り部分を後ローラに載せる。
5. バールでリールが確実に止まっていることを確認しながらインサートを外す。作業が終わったらバールを外す。
6. 後シールドを降ろしてシールドボルトを締め付ける。

## リール固定手順

### ▲ 警告

リール刃は非常に鋭利で、手足を切断できるほどである。

- リールの軌道内に手足を入れないこと。
- リールに作業を行う場合には、リールが回転しないよう確実に固定すること。

### ねじ付きインサートを外すためにリールを固定するには

1. カuttingユニット左側のシールドボルトをゆるめて後シールドを上げる 図 42。
2. 長い柄のバール 9 mm x 30 cm 程度のドライバータイプのもの。握りのついているものがよいを用意する。バールは、トルク作業を行う側に近い側で、リールの後ろから差し込むようにする 図 42。
3. リールサポートプレートの溶接されている側からバールを入れ 図 42、

注 リールのシャフトの上側と2枚のリール刃の背中側にバールを差し込むと、リールが回転できなくなる。

**重要** リールの刃先にバールを触れると刃こぼれなどを起こすバールを当てないように十分注意すること。

**重要** Cuttingユニット左側のインサートは左ねじです。Cuttingユニット右側のインサートは右ねじです。

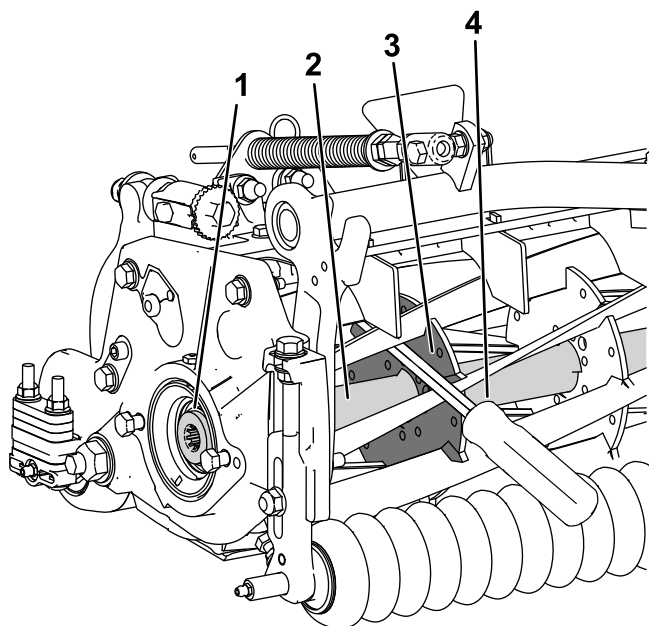
### ねじ付きインサートの着脱のためにリールを固定するには

1. 長い柄のバール 9 mm x 30 cm 程度のドライバータイプのもの。握りのついているものがよいを用意する。バールは、トルク作業を行う側に近い側で、リールの前から差し込むようにする 図 43。
2. リール補強版の溶接側からバールを入れる 図 43と、

注 Cuttingユニットの前側で、バールがリール刃、リールシャフト、リールの背面に当たってリールをロックする状態になる。

**重要** リールの刃先にバールを触れると刃こぼれなどを起こすバールを当てないように十分注意すること。

**重要** Cuttingユニット左側のインサートは左ねじです。Cuttingユニット右側のインサートは右ねじです。



g280384

**図 43**

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 取り付けるべきねじ山付き<br>インサート | 3. サポートプレートの溶接側<br>インサート |
| 2. リールシャフト               | 4. バール                   |

- 
3. バールの握り部分をローラに載せる。
  4. インサートに付属している取り付け要領書に従って取り付けとトルク締めを行い、リールがバールで確実に固定されていることを確認して取り付けを終了し、最後にバールを外す。

# 組込宣言書

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
03668	—	リールマスター 5210/5410 シリーズ 5 インチリール カッティングユニット用後 ローラブラシキット	REAR ROLLER BRUSH KIT-RM52/5410	ローラブラシキット	2006/42/EC, 2000/14/EC, 2004/108/EC
03688	—	リールマスター 5510/5610 および 6500-D/6700-D 用 7" リールカッティングユニット搭 載用後ローラブラシキット	REAR ROLLER BRUSH KIT-RM55/5610/6000	ローラブラシキット	2006/42/EC, 2000/14/EC, 2004/108/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み

権限を有する代表者



Marcel Dutrieux  
Manager European Product Integrity  
Toro Europe NV  
Nijverheidsstraat 5  
2260 Oevel  
Belgium

John Heckel  
エンジニアリング担当取締役  
8111 Lyndale Ave. South  
Bloomington, MN 55420, USA  
9月 29, 2021



**Count on it.**